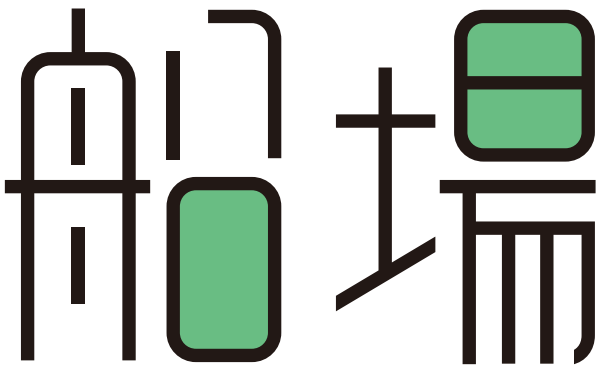


ええもん発見!!

H O P E ゾーン



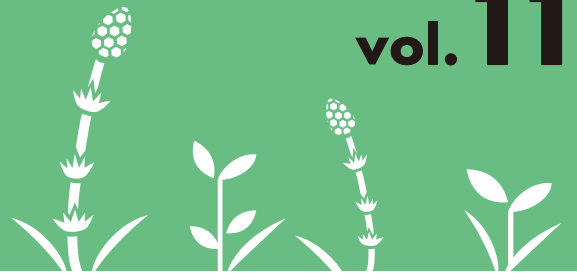
船場地区HOPEゾーン協議会NEWS

発行日：2013年3月29日

発行者：船場地区HOPEゾーン協議会

編集長：藤原久恵（協議会理事）

vol. 11



船場地区HOPEゾーン事業

平成24年度 まちなみ修景工事が完成しました!

船場地区のまちなみガイドライン「まちなみ作法」に沿った修景が完成しました。

‘くすりのまち道修町’を演出する楽しい修景です。お近くに来られた際には是非ご覧ください。



朝日生命道修町ビル

道修町1-5-18 map A

修景概要

通りに面する1階ガラス窓部分が改修され、愉しく演出されています。「くすりのまち道修町」と呼ばれるようになった由来や、通りの案内、まちを初めて訪れた方にも「道修町」の読み方を知って頂けるよう「DOSHOMACHI」の文字がデザインされています。ガラス面に近づいて、じっくりと内容を読み取れるようになっています。道修町散策のひとつのアイテムとして活用してみたいはいかがでしょうか?

Before



修景前

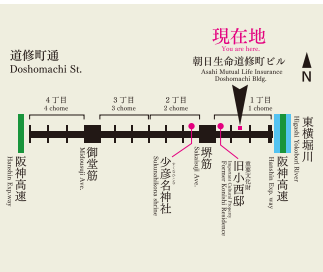
After



修景後

道修町は、江戸時代以来、薬種問屋が集中し、全国への薬種流通の中心でした。現在も、薬租講(薬種関連企業で構成される講)を中心に、地域と企業が町ぐるみで一体となった活動を続けています。くすりの町 道修町は、これからも人々の生命と健康を育む町として歩み続けます。

協力：船場地区HOPEゾーン協議会 道修町部会
この案内板は、大阪市HOPEゾーン事業「まちなみ修景補助制度」を活用しています。



通りの案内

まちなみ修景工事中!

道修町通に建つ近代建築「武田薬品工業道修町ビル」では、現在、大規模な改修工事が行われています。

外壁の改修では、竜山石でできたレリーフの再現や、破損したタイルの貼りかえなど「船場のまちなみ作法」に沿った再生が進められています。工事は平成25年6月には完成予定で、秋には現在淀川区にある武田科学振興財団の資料館「杏雨書屋(きょううしょおく)」も移転してきます。資料館は解体新書などの国宝級の書物も並び一般公開される予定です。磨きをかけられ、輝きを増した道修町ビルに会える日が楽しみです。



レリーフ(修景前)



建物全景(修景前)

修景事例集を作成しました!

平成21年度から開始された、まちなみ修景。オーナーのみなさんに協力いただき、市の補助制度を活用して、たくさんの建物がより魅力的になりました。その修景内容を紹介する「まちなみ修景 事例集vol.1」を作成しました。協議会ホームページへ掲載しています。是非ご覧ください!



